

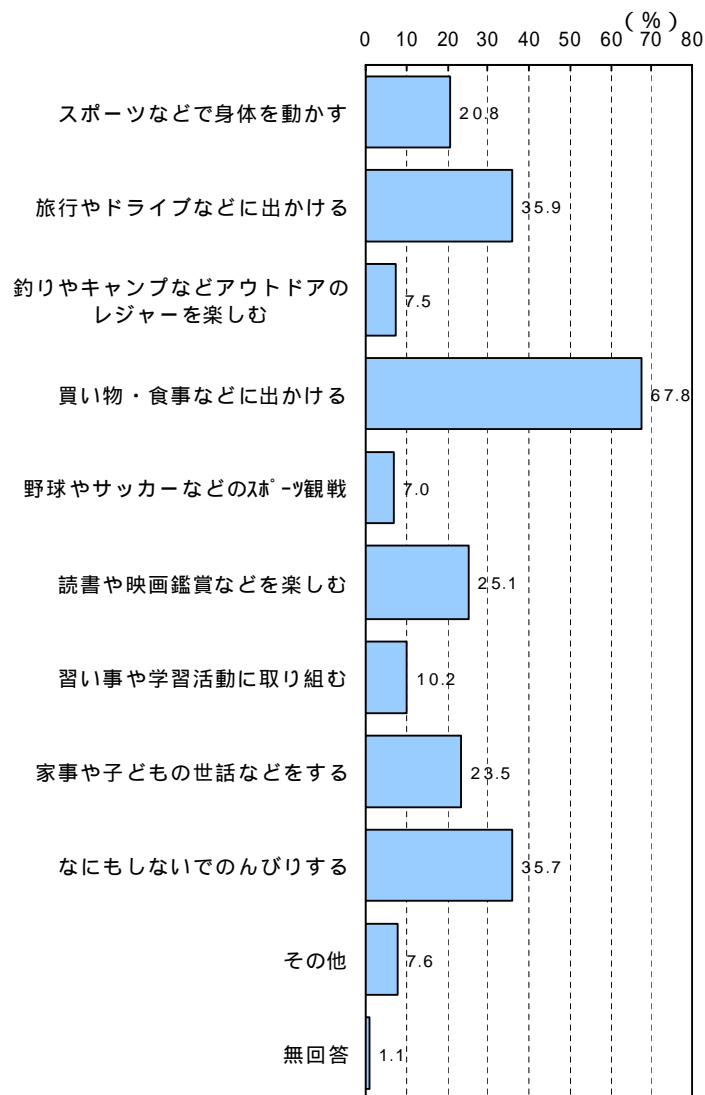
なごやの生物多様性について

名古屋市では、来年開催される生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)のテーマでもある「生物多様性の保全」について、市民の皆さんに関心を持って頂きたいと考えています。

そこで、皆さんの自然とのふれあい方や、生物多様性を感じる場所などについてお尋ねし、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

アンケート中の「自然」とは、水辺や緑、そこに集まる生き物を含みます。

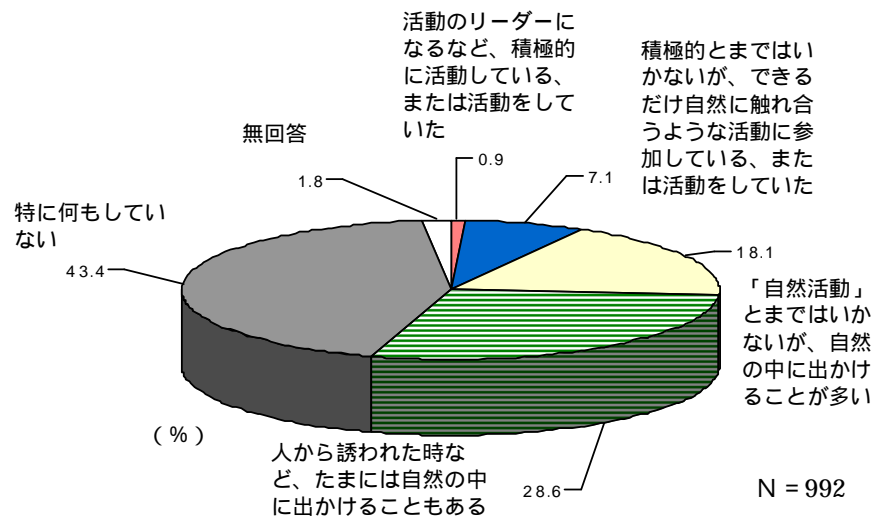
問9 日頃、余暇を使って行っていることは何ですか。(は3つまで)



N = 992

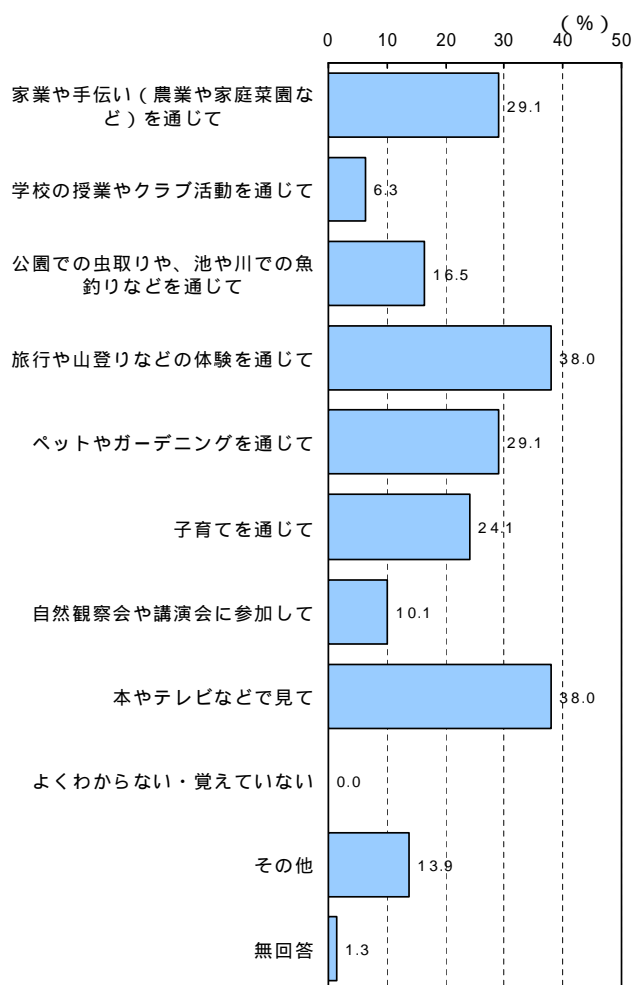
問 10 あなたは日頃どれくらい自然活動（ ）に参加したり、自然とふれあっていますか。
（ は1つだけ）

自然活動…ここでは「自然観察会」や「農業体験」などの活動を行っていることを想定しています。



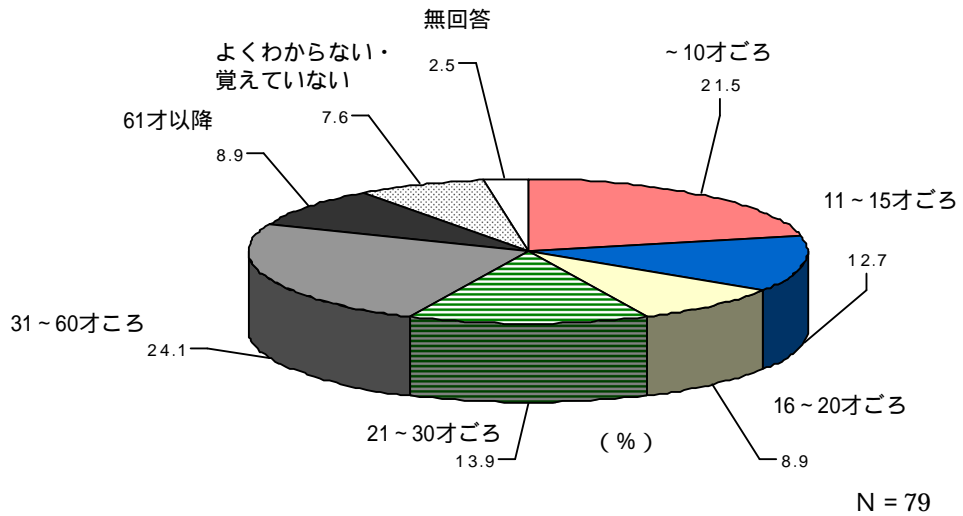
問 10 で 1 ~ 2 と答えた方（自然活動に参加している方（していた方））におたずねします。

問 11 自然に関心をもったきっかけは何ですか。（ は3つまで）



N = 79

問 12 自然に関心を持つようになったのはいつ頃ですか？一番印象に残っている年代でお答えください。(は1つだけ)



問 10 で 3 ~ 5 と答えた方うかがいます。

問 13 普段の生活の中で、自然を身近に感じるときはありますか。それはどんな時ですか。

- ・ 近くの公園に出掛けた時
 - ・ 虫の鳴き声を聞いた時
 - ・ 庭の手入れをしている時
 - ・ 鳥のさえずりを聞いた時
 - ・ カエルの声を聞いた時
- ほか



地球のいのち、つないでいこう



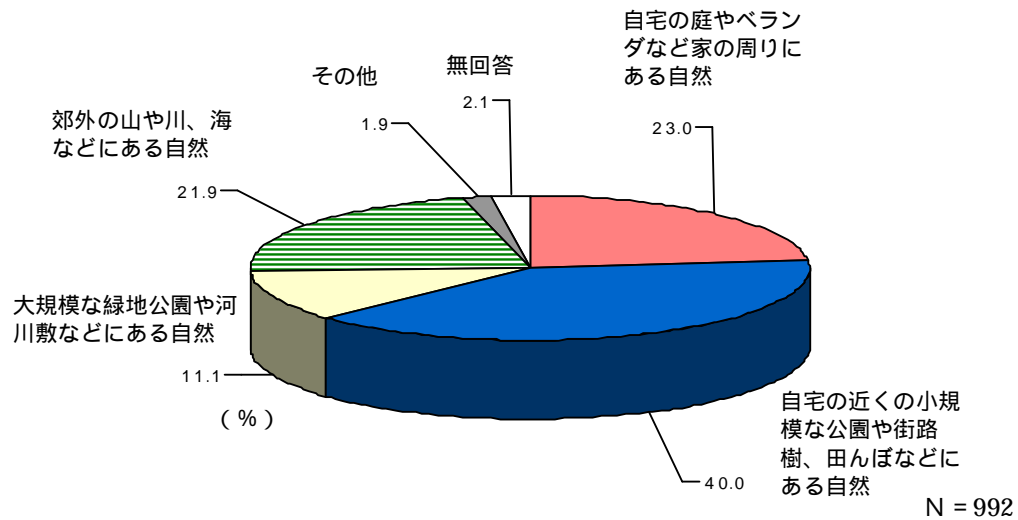
生物多様性

ところで、来年開催される COP10 のテーマ「生物多様性」についてご存じですか？

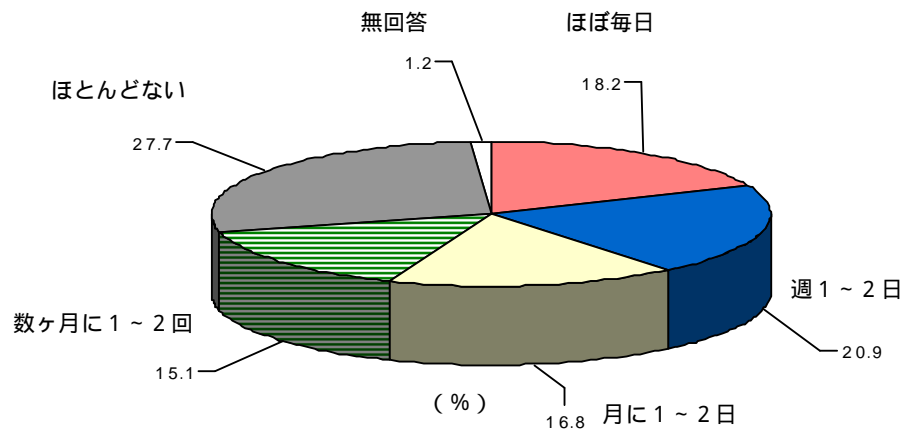
「生物多様性の保全」というと難しく聞こえるかもしれませんが、水辺や緑とそこに集まる生き物たちといった、「身近な自然」との関わり方について考えたり、日々の暮らしが、米や魚など「自然の恵み」に支えられていることに気づくことから始まる、と考えています。

すべての方におたずねします。

問 14 あなたが「身近な自然」という言葉から最初にイメージする自然はどのようなものですか。(は1つだけ)

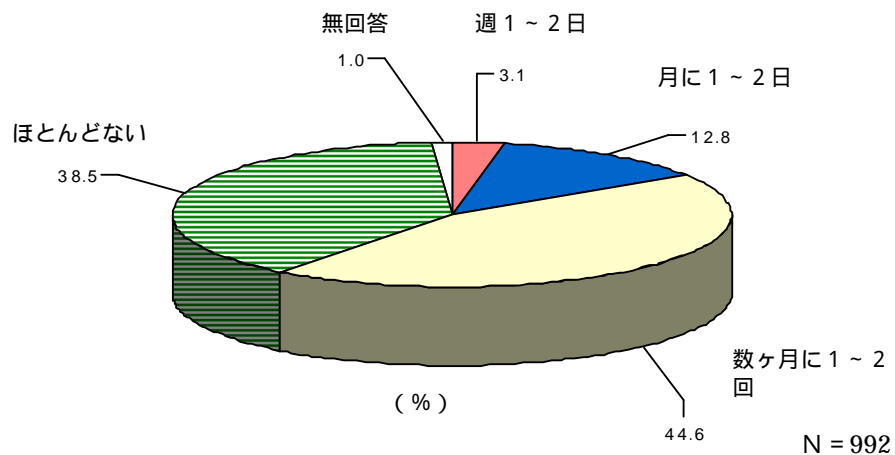


問 15 あなたが実際に、近くの公園や田んぼなどで自然にふれる機会はどれくらいありますか。(は1つだけ)

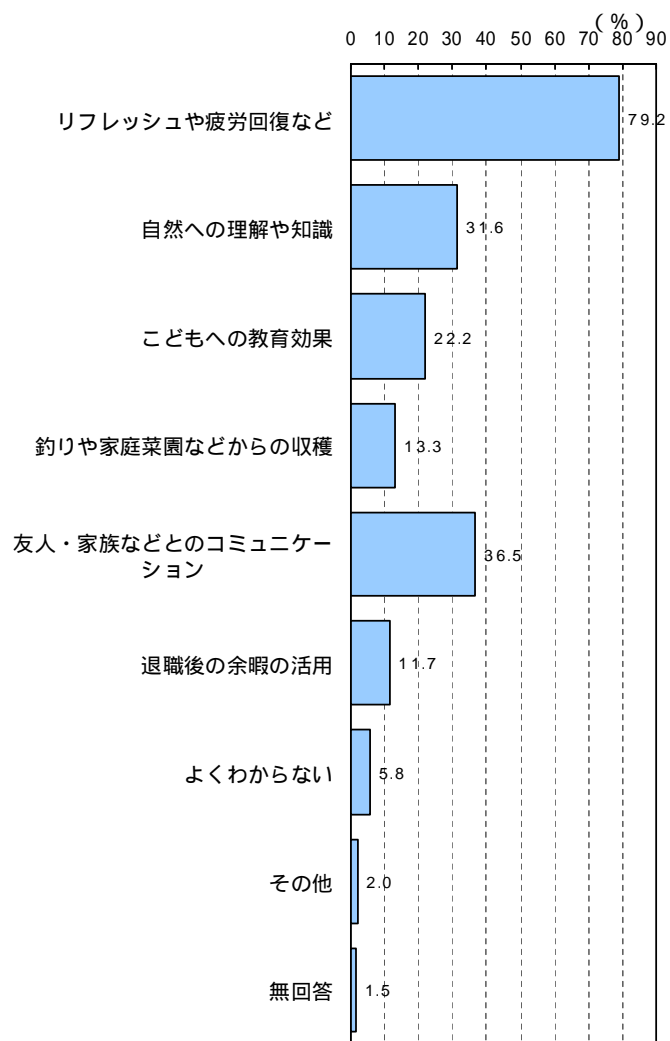


N = 992

問 16 郊外の山や海などで自然にふれる機会はどれくらいありますか。(は1つだけ)



問 17 あなたは、自然とふれあうことで、どの様なものが得られると思いますか。(は3つまで)



市民の皆さんが「生物多様性」を身近に感じるきっかけづくりとして、今後、なごやの“自然の名所”を紹介したいと考えています。

お気に入りの川や公園緑地、意外に身近なオススメの場所など、あなたが自然を感じる場所について教えてください。

問 18 あなたが、市内及び近郊で“自然の名所”を選ぶとしたらどこですか。意外な場所でもかまいません。

- ・ 東山総合公園
- ・ 庄内緑地公園
- ・ 鶴舞公園
- ・ 名城公園
- ・ 小幡緑地公園 ほか

